



まちの

わだい



北見市内の「パラボ」で開かれた高知県の観光と物産展（1月8日～14日）PRのため、ミス高知の川村夢実さんが、1月8日来町しました。訓子府町が高知の北光社移民団によって開拓されたことなどを菊池町長と話していました。

また、「雪と寒さにびっくりしました」と訓子府の冬に驚きながらも、「南国・土佐」の物産をPRしていました。

観光と物産展 PRで来町 「寒さにびっくり」



ミス高知の
川村 夢実さん

成人式 振り袖など着飾り大人の仲間入り



祝



平成22年訓子府町成人式が、1月10日公民館で行われました。対象は、男女合わせて64人で、このうち56人が出席、多くの方の祝福を受けました。一生に一度の式典は、天候にも恵まれ、新成人がスーツや振り袖などに身を包み、会場入り。式典では、町民憲章を朗唱したあと、新成人を代表して古賀 歩さん（弥生）が「責任ある社会人として成長したい」と誓いの言葉を述べました。交流パーティーでは、久しぶりに再会した同級生と記念撮影したり、お酒を飲みながら、楽しいひとときを過ごしていました。

まちのわだい

ピンポン大会で熱戦



訓子府町卓球協会主催の第28回地域対抗ピンポン大会が、1月17日スポーツセンターで約40人が参加して開かれました。団体は男女合わせて13チーム、ダブルスに20組が出場しました。参加者は、強烈なスマッシュを決めるなど、熱戦を繰り広げました。

上手になったよ！
初心者を対象にした少年少女スキー教室が1月12日から14日までの3日間、レクリエーション公園内の町営スキー場で開かれました。幼稚園児と小学生40人が参加しました。初めてスキーに挑戦する子どももあり、斜面上り方など基本的な練習や、スキーを「ハ」の字に開いて滑るボーゲンなどを行いました。教室3日間は、時折降雪があったほか、気温も氷点下10度以下となる日もありましたが、子どもたちは元気にスキーに挑戦し、上達しました。



少年少女スキー
教室に40人

図書館から 新しい本が入りました

小学生のときに身に
つけたい礼儀と作法

青木 庸／著

児童書



正しいおじぎ、あいさつってどうするの？ 食事のときにしてはいけないことは？ 小笠原流宗家が懇切に指導します。

地元学からの出発

結城登美雄／著

一般書



それぞれの地域に生き、担い、つくる人びと。その土地を生きてきた人びとから、これからの家族の生き方、暮らし方、地域のありようを学ぶ。

罪火

大門 剛明／著

小説



過失で人を殺してしまった若宮忍は誰かを巻き添えにして死のうと思っていた。彼はついに恩師の娘を毒牙にかけ…。

防火の誓い新たに

訓子府消防団の出初式が、1月5日行われ、団員91人と車両11台が出動しました。消防支署前で観閲が行われたあと、町中心部をパレードしました。団員はきびきびとした動作で行進し、今年1年の防火の誓いを新たにしていました。また、大勢の町民の方もパレードを見に訪れ、団員同様に災害のない1年を願っていました。

消防団が出初式

